

【歳出】

事業名	内容及び金額(千円)			
1 公立小中学校旅費審査支給業務 教育政策課	事業内容	公立小中学校教職員の家庭訪問や学校行事への引率、会議や研修などに出張する際の旅費請求について、審査・支給事務などを県下4教育事務所において実施しています。		
	見直し内容・理由	教育事務所が所掌する旅費審査事務などを本庁に集約することで専門性の強化や効率化が図られるため、職員体制を見直し定数の削減となります。		
	R 3 予算額	30,456	R4見直し見込額	5,670
2 特別支援学校の専門性向上事業 特別支援教育課	事業内容	一人ひとりの能力を最大限伸ばす特別支援学校改革を進めるため、指導のベースとなるシラバス(各授業の年間計画)を作成するとともに、指導効果について第三者から評価を受ける仕組みやシラバスを活用した教師の専門性向上の研修体系を整備します。		
	見直し内容・理由	指導のベースとなるシラバスの作成と、指導効果について第三者から評価を受ける仕組み及び研修体系の整備が終了したため、事業完了となります。		
	R 3 予算額	301	R4見直し見込額	301
3 「教育情報化リーディング校」での次世代の教育情報化に向けた実践研究 学びの改革支援課	事業内容	新学習指導要領の「学びに向かう力」の育成や、大学入試改革による学習履歴の提出に対応するため、学習支援システムを活用した教育実践研究と、統合型校務支援システムとの連携実証研究を行っています。		
	見直し内容・理由	平成30年度から実践研究を行ってきましたが、生徒の学習に向かう姿勢の向上や学習履歴提出への対応、学びの振り返りによる力の育成が図られたことから、事業完了となります。		
	R 3 予算額	2,187	R4見直し見込額	2,187
4 遠隔教育システムにおける学習支援事業(まなびすけ信州) 学びの改革支援課	事業内容	授業動画や教材・学習課題などの閲覧可能なポータルサイト(まなびすけ信州)を整備し、感染症の影響による臨時休業時の対応や、病気や怪我による欠席で授業を受けられない児童・生徒の家庭での学習を支援しています。		
	見直し内容・理由	県立学校でZoom等を活用した独自のICT学習環境が整ってきたため、事業完了となります。		
	R 3 予算額	12,936	R4見直し見込額	12,936
5 地域との協働による高校教育改革推進事業 学びの改革支援課	事業内容	環境保全、ビジネス、地域資源の有効利用など、地域課題の解決を通じた学習カリキュラムを構築し、地域の課題解決のための新たな価値を創造できる人材の育成を目指します。		
	見直し内容・理由	実践校での学習カリキュラムの構築等が終了し、各校が主体となって学習できる基盤が整備されたため、事業完了となります。 3年間の事業成果は、類似の事業(WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業)を活用し他校へ波及させてまいります。		
	R 3 予算額	10,908	R4見直し見込額	10,908

事業名		内容及び金額(千円)			
6 中山間地域の新たな学びの創造事業	事業内容	Web会議システムやタブレット端末などのICT機器を活用し、中山間地域における学校間での遠隔教育の実践指導及び他校や民間事業者等との交流を推進します。			
	見直し内容・理由	1人1台タブレット端末環境が整備され、中山間地域におけるタブレット端末を活用した授業の取組が進み当初の事業目的が達成されたため、事業完了となります。			
	学びの改革支援課	R 3 予算額	1,016	R4見直し見込額	1,016
7 自然教育・野外教育推進事業	事業内容	自然体験を通じた仲間とのふれあい等を通じ、自然からの学びや、たくましく生き抜く力の育成を図ります。			
	見直し内容・理由	信州ならではの自然教育・野外教育に係る好事例を記載した「自然教育・野外教育プログラム」が策定されたため、プログラム策定に係る経費を縮小します。これまで策定したプログラムは、他の小中学校において活用します。			
	学びの改革支援課	R 3 予算額	1,792	R4見直し見込額	930
8 科学教育推進事業	事業内容	長野県の「ものづくり」を支え、社会の「イノベーション」をけん引する理系人材を育成するため、高等学校等が企画する、国内の大学・研究機関・企業との研修に対する経費を助成します。			
	見直し内容・理由	タブレット端末整備が進んだこと及び研修先と繋がりができたことにより、オンラインを活用した研修が可能となったため、旅費に係る経費を縮小します。なお、オンライン研修により研修に参加できる生徒が増加する相乗効果も生まれています。			
	学びの改革支援課	R 3 予算額	19,545	R4見直し見込額	9,127
9 信州チャレンジスポーツDAY	事業内容	県民の誰もが、年齢・体力・技術・目的等に応じて主体的にスポーツに親しむ生涯スポーツ社会の実現に向け、幅広い年齢層の方が参加し、相互交流によるスポーツに親しむきっかけとなるイベント開催費の補助を行っています。			
	見直し内容・理由	市町村等が主体となって地域のスポーツ振興の活動が行えるよう、既存のスポーツ振興施策の中で支援を行っていくため、事業完了となります。			
	スポーツ課	R 3 予算額	260	R4見直し見込額	260

【歳入】

項目		内容及び金額(千円)			
10 県立歴史館事業	見直し内容	「歴史館パートナー」における協賛企業等を広く募集する取り組みを行い寄付金を募集するとともに、新たにミュージアムグッズを作成し販売することにより、収入の確保を図ります。			
	文化財・生涯学習課	歳入科目	寄付金・雑入	R 4 効果額	955